

第6次総合計画 評価指標一覧

資料3

1. 重点プロジェクト

プロジェクト名		指標名	指標の説明	現状値(基準値)(H30)	出典(調査名等)	実績値確定時期	中間目標値(R5)	最終目標値(R9)	目標値設定の考え方	担当課(室)
重点プロジェクト	1 人口減少抑制プロジェクト	★総人口	町内に住民登録している町民の総人口	16,979人	住民基本台帳	毎月末	15,082人	13,815人	第6次白老町総合計画の将来目標人口以上を目指す	企画課
		★まちの愛着度	白老町が「好き」、「どちらかといえば好き」と回答した町民の割合	57.8%	町民意識調査	隔年	64.0%	70.0%	過去の最高値と現状値の中間値を目指す	企画課
		★居住評価	白老町の生活に「満足」、「やや満足」と回答した町民の割合	35.9%	町民意識調査	隔年	43.0%	50.0%	過半数以上の満足度を目指す	企画課
		★定住意向	これからも白老に「定住したい」、「どちらかといえば定住したい」と回答した町民の割合	54.3%	町民意識調査	隔年	62.0%	70.0%	過去の最高値と現状値の中間値を目指す	企画課
	2 地域経済活性化プロジェクト	★納税者1人当たり所得	納税者1人当たりの所得額	2,401千円	市町村税課税状況等の調	毎年3月	2,491千円	2,581千円	過去10年間の最高値を目指す	企画課
		観光入り込み客数	観光入り込み客数	1,505千人	観光入り込み調査	毎年3月	3,000千人	3,500千人	現状の目標値である3,000千人をR5までに達成し、以降は更なる増加を目指す	企画課

2. 町民満足度

分野	基本施策	指標名	指標の説明	現状値(基準値)(H30)	出典(調査名等)	実績値確定時期	中間目標値(R5)	最終目標値(R9)	目標値設定の考え方	担当課(室)
共通	共通	町民満足度	各施策における町民の満足度	54.2%(平均)	町民意識調査	隔年	57.0%(平均)	60.0%(平均)	これまでの推移より、町民満足度を60%以上とするため、各施策において一律6%増加を目指す	企画課

3. 成果指標

分野	基本施策	指標名	指標の説明	現状値(基準値)(H30)	出典(調査名等)	実績値確定時期	中間目標値(R5)	最終目標値(R9)	目標値設定の考え方	担当課(室)
生活環境	1-1 身近な安全	犯罪の発生件数	町内の1年間(暦年)の犯罪(刑法犯)発生件数	61件	苫小牧警察署 白老交番調べ	毎年12月	58件	55件	過去5年間の最低値とする	生活環境課
		交通事故死亡者数	町内における1年間(暦年)の交通事故死亡者数	1件	胆振振興局	毎年12月	0件	0件	交通死亡事故者数ゼロを維持する	
	1-2 防災・減災	自主防災組織結成率	自主防災組織の結成率	74.5%	結成報告による	毎年4月	76.5%	78.5%	これまでの推移より、4年間ごとに概ね2%増とする	危機管理室
		防災講座実施件数	出前講座の実施件数	40回	結果報告による	毎年4月	45回	50回	これまでの推移より、4年ごとに概ね5件増とする	
	1-3 消防・救急	普通救命講習会受講者数	消防署において開催する普通救命講習の受講者数	138人	消防署	毎年4月	138人	138人	今後の人口減少を踏まえ、現状を維持する	消防本部
		消防団員充足率	消防団員充足率 (実団員数÷消防団員定数)	95.4%	消防本部	毎年4月	95.4%	95.4%	今後の人口減少を踏まえ、現状を維持する	
	1-4 環境美化・衛生	不法投棄量	町内における不法投棄されたごみ等の年間回収量	22.9t	生活環境課調べ	毎年度末	20.0t	20.0t以下	R5までに年間20tを目指し、その後はさらに減少させる	生活環境課
	1-5 循環型社会形成	町民一人当たりのごみ排出量	町民一人当たりの1日のごみ排出量	622g/日	生活環境課調べ	毎年度末	591g/日	585g/日	白老町ごみ処理基本計画に基づき、目標値を設定する	生活環境課
	1-6 住環境	★耐用年数経過戸数(公営住宅)	公営住宅法による法定耐用年数を経過した住棟の戸数	494戸	公営住宅等管理台帳	毎年4月	490戸	440戸	公営住宅等長寿命化計画に基づき、目標値を設定する	建設課
	1-7 公共交通	デマンドバス利用者数	デマンドバスの年間合計日平均利用者数 (年間合計利用者数÷運行日数)	8.4人/日	委託事業者からの報告	毎年4月	15人/日	17人/日	運行エリア・台数増により、現状値の2倍を目指す	企画課
1-8 道路	★町道舗装率	町道舗装率 (舗装済延長÷町道総延長) ※簡易舗装含む	50.1%	建設課	毎年4月	50.4%	50.7%	町道簡易舗装実施計画に基づき、目標値を設定する	建設課	
1-9 上下水道	漏水件数	町内における1年間(年度)の漏水件数	29件	上下水道課	毎年4月	25件	20件	本管の更新により、1年毎に概ね1件減とする	上下水道課	
	水洗化率	水洗化率 (水洗化人口÷処理区域内人口) ※下水道施設の効率性を測る指標	94.0%	上下水道課	毎年4月	94.6%	95.0%	白老町下水道中期ビジョンに基づき、目標値を設定する		
1-10 地域情報化	光ブロードバンド加入率	光ブロードバンド加入率 (加入世帯数÷全世帯)	32.9%	総務課	毎年4月	34.0%	36.0%	これまでの推移より、8年で概ね3%増とする	総務課	

分野	基本施策	指標名	指標の説明	現状値(基準値)(H30)	出典(調査名等)	実績値確定時期	中間目標値(R5)	最終目標値(R9)	目標値設定の考え方	担当課(室)
健康福祉	2-1 健康づくり	★メタボリックシンドローム該当者等割合	国保特定健診によるメタボリックシンドロームの該当者・予備軍の割合	該当者 19.2% 予備軍 11.3%	特定健診等データ管理システム	毎年10月中旬	該当者 14.4% 予備軍 8.5%	該当者 14.4%以下 予備軍 8.5%以下	データヘルス計画に基づき、目標値を設定する	健康福祉課
		国保特定健診受診率	国保特定健診の受診率	34.4%	法定報告	次年度11月	40.4%	40.4%以上	データヘルス計画に基づき、目標値を設定する	町民課
	2-2 地域医療	★救急患者受入件数	町民やウポボイの来訪者等に対するの医療体制の充実(いつでも安心して医療を受けられる体制づくり)を測る指標	758件	町立病院	毎年4月	900件	1,000件	高齢化率の増加とウポボイ開設を踏まえ、1,000件を目標とする	町立病院
	2-3 子ども子育て	★保育園等の利用定員に対する在園児数の割合(教育・保育)	認定ごとの利用定員に対する在園児の割合	教育 59.0% 保育 107.9%	在籍クラス年齢別児童数内訳	毎年3月	教育 80.0% 保育 104.0%	教育 100.0% 保育 100.0%	最終年度までに利用希望に応じた提供体制を整備する	子育て支援課
	2-4 地域福祉	ボランティアセンター登録者割合	ボランティアセンター登録者割合(登録者数÷人口)	12.1%	白老町社協に実績確認	毎年4月	12.1%	12.1%	今後の人口減少を踏まえ、現状を維持する	健康福祉課
	2-5 高齢者福祉	介護予防事業参加者数	介護予防事業の年間参加者数	9,200人	白老町地域包括支援センター運営協議会報告資料	毎年4月	9,200人	9,200人	今後の人口減少を踏まえ、現状を維持する	高齢者介護課
	2-6 障がい者(児)福祉	障がい福祉サービス等相談の年間対応件数	「白老町相談支援事業所」相談支援専門員等の対応実績	1,696件	白老町相談支援事業所月報実績	毎年4月	1,750件	1,800件	これまでの推移より、4年ごとに概ね50件増とする	健康福祉課

分野	基本施策	指標名	指標の説明	現状値(基準値)(H30)	出典(調査名等)	実績値確定時期	中間目標値(R5)	最終目標値(R9)	目標値設定の考え方	担当課(室)
教育文化	3-1 学校教育	全国学力等調査による平均回答率の全道平均との差	全国学力等調査による平均正答率の全道平均との差	△2.7点	全国学力・学習状況調査	毎年9月	△1.4点	0点以上	白老町スタンダードに基づき、目標値を設定する	学校教育課
	3-2 社会教育	★生涯学習講座開設数	生涯学習講座の開設数	12回	実数	毎年4月	15回	18回	新規講座の開設により、4年ごとに3回増とする	生涯学習課
		図書館の町民一人当たり蔵書貸出数	町民一人当たりの年間貸出冊数	3.8冊	実数	毎年4月	3.9冊	4.0冊	これまでの推移より、4年ごとに概ね0.1冊増とする	
	3-3 芸術文化	陣屋資料館入館者数	仙台藩白老元陣屋資料館の年間来場者数	5,313人	資料館統計	毎年4月	7,000人	10,000人	多言語化機器整備や特別展等により、8年間で概ね倍増とする	生涯学習課
		芸術文化鑑賞事業実施回数	芸術文化鑑賞事業の実施回数	6回	実数	毎年4月	7回	8回	新規事業実施により、4年ごとに1回増とする	
	3-4 スポーツ	スポーツ事業等実施回数	町民向けスポーツ事業の実施回数	13回	実数	毎年4月	17回	21回	新規事業実施により、毎年1回増とする	生涯学習課
		★体カづくり教室の実施回数	トレーニング機器等を活用した体カづくり教室の実施回数	0回	実数	毎年4月	12回	24回	月1回実施を目標とし、最終年度には月2回実施を目指す	
	3-5 民族文化	アイヌ文化の理解を深めるための講習会開催回数	アイヌ文化に関する古式舞踊・刺繍・伝統食・手工芸等講習会等の開催回数	30回	町内アイヌ関係団体からの報告	毎年4月	35回	40回	ウポポイ開設を契機に、4年ごとに5回増とする	アイヌ総合政策課
	3-6 人権	各種審議会等における女性の登用率	各種審議会における女性委員の割合	28.7%	辞令簿	通年	31%	35.0%	白老町男女共同参画計画あいプランに基づき、目標値を設定する	生活環境課

分野	基本施策	指標名	指標の説明	現状値(基準値)(H30)	出典(調査名等)	実績値確定時期	中間目標値(R5)	最終目標値(R9)	目標値設定の考え方	担当課(室)
経済産業	4-1 産業連携・雇用	立地企業件数(延べ)	立地企業(進出企業)の総件数	32件	経済振興課独自資料	毎年4月	33件	34件	誘致とアフターフォローにより、4年ごとに1件増とする	経済振興課
	4-2 港湾	取扱貨物量の実績	商船等の取り扱い貨物量	122万t	港湾統計調査	毎年1月	130万t	140万t	新規取扱貨物の発掘により、4年ごとに概ね10万トン増とする	港湾室
		★クルーズ客船、大型貨物船の年間寄港回数	クルーズ客船及び大型商船の年間寄港回数	0隻	港湾統計調査	毎年1月	2隻	4隻	ポートセールス等の強化により、4年ごとに2隻増とする	
	4-3 商工業	製造品出荷額	町内製造業の製造品出荷額	625億円	工業統計調査	毎年3月	629億円	633億円	三菱UFJリサーチ&コンサルティング「日本経済の中期見通し」に基づき、目標値を設定する	経済振興課
		★新規創業支援件数(延べ)	創業支援計画の活用による新規起業件数	4件	指標の説明のとおり	毎年3月	8件	12件	創業支援計画に基づき、目標値を設定する	
	4-4 観光	観光入り込み客数	観光入り込み客数	1,505千人	観光入り込み調査	毎年3月	3,000千人	3,500千人	現状の目標値である3,000千人をR5までに達成し、以降は更なる増加を目指す	経済振興課
		★観光消費額	DMOによる市場調査と、北海道の「観光で稼ぐための手引書」で積算した額	—	指標説明のとおり	毎年3月	※146億円	※150億円	北海道経済部観光局で作成している観光消費による経済波及効果の「見える化」分析ツールで試算した観光消費額を目標とし、以降は増加を目指す ※今年度中に上記数値を積算	
	4-5 農林業	★農林業従事者数	農林業に従事している人数	463人 (H27国調)	国勢調査	国勢調査実施の2年後	480人 (R2国調)	500人 (R7国調)	現状値から毎年概ね4人増とする	農林水産課
		特用林産物生産量	原木及び菌床による町内生しいたけの生産量	2,079t (H28~30平均)	北海道特用林産統計	毎年1月	2,079t	2,079t	基準値が高い水準にあり、現状を維持する	
	4-6 水産業	つくり育てる漁業の生産額	栽培漁業により漁獲され市場を通じて取り引きされた実績額	108百万円	いぶり中央漁業協同組合月報	毎年4月	150百万円	190百万円	これまでの推移より、毎年概ね10百万円増とする	農林水産課
★新規就業者数(延べ)		新規就業者数	2人	いぶり中央漁業協同組合で把握	通年	8人	16人	これまでの推移より、毎年2人の新規就業とする		

分野	基本施策	指標名	指標の説明	現状値(基準値)(H30)	出典(調査名等)	実績値確定時期	中間目標値(R5)	最終目標値(R9)	目標値設定の考え方	担当課(室)
地域自治	5-1 地域活動	町内会加入率	町内会加入率 (町内会加入世帯数÷全世帯数)	90.0%	町内会活動費補助 金 住民基本台帳	毎年4月	90.0%	90.0%	単身用アパートの増加、核家族化を踏まえ、現状を維持する	企画課
	5-2 交流・連携	姉妹都市等交流事業実施回数	姉妹都市等の交流事業の実施回数	11回	実数	毎年4月	15回	20回	新規事業の実施により、毎年概ね1回増とする	生涯学習課 関係課
	5-3 行財政運営	連結実質赤字比率	「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものを、黒字の場合は「-」と表示される	-	地方公共団体の財政の健全化に関する法律	毎年9月	-	-	実質赤字は発生していないため、今後も黒字を維持する	財政課 税務課